

古代学学術研究センター・研究会
古代を見なおす

日時： 12月12日（月）16:30～18:00

会場： 奈良女子大学文学系S棟3階327演習室

報告： 奈良時代の解由制度

岩村 彩子（奈良女子大学大学院人間文化研究科）

古代学学術研究センターでは、「都市」を一つのキーワードとして研究を進めるとともに、現在〈古代〉と呼ばれている時代の実像をとらえること、また、その〈古代〉概念を問いなおす研究なども、あわせておこなっています。今回は、都から各地に派遣された国司にかかわる制度に光があてられます。みなさま、ふるってご参加ください。

奈良時代においては、地方官（国司）の交替に際し、前任者と後任者との間で事務引継ぎが行われた後に、後任者が前任者に対して解由状を交付する解由制度が存在した。そしてそれは、造都・征夷の国家的大事業を励行した桓武朝に至って、注目されるようになってくる。しかし、奈良時代の史料にはあまり見られず、その目的・実態ともに明確でない。

そこで、今回は、奈良時代の解由制度について、中国（金・元代）の解由制度も参考にしながら、その目的・実態を検討したい。

事前申し込みは不要、参加費は無料です。

多くみなさまのご参加をお待ちしています。

問い合わせ先：奈良女子大学 舘野和己研究室（0742-20-3307）